



## 2020 年度検討テーマ

「常備薬の適切な管理  
～インスリン製剤と注射用カリウム製剤～」  
2020 年度から「常備薬の適切な管理」をテーマに掲げ、病棟等における常備薬の適切な管理の推進のための活動を行っている。今年度はインスリンと KCL の管理に焦点をあてた。

## 部会員一覧

(敬称略・五十音順)

◎＝部会長、○＝副部会長

赤木 晋介○	公益財団法人大原記念 倉敷中央医療機構 倉敷中央病院
川井 信孝◎	埼玉医科大学国際医療 センター
菅野 浩	社会福祉法人恩賜財団 済生会横浜市東部病院
佐藤 みづほ	独立行政法人国立病院 機構村山医療センター
佐藤 康弘	国家公務員共済組合連 合会 平塚共済病院
高橋 香織	社会医療法人財団 石心会 川崎幸病院
宅和 真由美	パナソニック健康保険 組合 松下記念病院
塚原 みどり	伊勢崎市民病院
米倉 一郎	独立行政法人地域医療 機能推進機構 東京新 宿メディカルセンター

## 活動報告

### アンケート・セミナーの実施

- ・「インスリン製剤と注射用カリウム製剤の管理状況に関するアンケート」実施
- ・薬剤安全セミナー  
12 月 19 日開催（シンポジウム形式、オンライン開催）  
> [開催報告](#) / [後日配信](#)

### 成果・発表内容等

- ・アンケート結果  
> [「インスリン製剤と注射用カリウム製剤の管理状況に関するアンケート 集計結果」公開](#)
- ・会員病院作成資料の公開・共有  
> [「インスリン製剤と注射用カリウム製剤の適切な管理に関する資料」公開](#)

## 総括

多くの医療機関では、緊急または早急に投与が必要な薬剤を常備薬として病棟や外来に配置している。これら常備薬には様々なベネフィットがあるが、一方で院内薬剤部門と同等に温度・湿度、使用期限、定数在庫の管理、紛失や盗難対策を取らねばならず、薬剤師による監査や調整がなされないという医療安全上の問題を内在していることに留意しなければならない。

常備薬の管理に関する会員病院の取り組みを情報共有するため、今回はインスリンと KCL に焦点を絞り会員病院にアンケートを行った。また、アンケートに協力いただいた施設のうち 4 施設にオンラインセミナーでシンポジストとして発表をお願いした。

アンケートにより会員病院の現状を知ることができ、効率と安全を両立できるような様々な取り組みも行われていることが分かった。シンポジウムの発表をはじめ、会員病院から得た貴重な情報は協議会の Web サイトから閲覧できるようにした。是非ご覧いただき、自施設での常備薬管理にお役立ていただきたい。

(部会長・川井 信孝)